

すがわら進 News

川崎市会議員

小さな声を大きな力に

すがわら進ニュース 第138号

発行者：公明党川崎市議団
発行人：菅原進
住所：川崎市多摩区登戸3095
電話：044-933-2043
印刷所：光明印刷
(幸区塚越4-345-105)



ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
それが「すがわら進」の夢です。



“南武線を羽田国際空港まで延伸することを提案”

平成23年第4回定例会

決算審査特別委員会で「すがわら進」議員は2項目の質問を行いました。

●決算審査特別委員会

2項目の質問を担当

1 川崎臨海部の活性化について

【1】国際競争の拠点を臨海部に形成を。
高度医療・ライフノベーションの特区を設けることで3,000億円の経済効果が見込まれる。

【2】南武線を臨海部を経て羽田国際空港につなげ、産業・経済の活性化や観光事業の推進を図るよう要請。

【3】放射線量率の高い輸出用一部の中古自動車対策として川崎港運協会との覚書をかわし安全対策を要望。

【4】川崎・横浜・東京3港が京浜港として連携し貨物取扱量の推計は20年後に2倍にするよう提案。

【5】リサイクルポートの機能強化して循環資源を再有効活用へ。そして循環型社会の実現を図るべきである。

【6】本年、開港60周年を迎える川崎港—今年を国際戦略港湾の初年度ととらえ、更なる発展を期するよう要請。



開港60周年・みなと祭りに参加



質問に立つすがわら進議員

2 行財政の課題について

【1】財政指標として経常収支比率の目標の明確化を。

【2】経常収支比率の低減のために、生活保護扶助費の適正化や人件費の削減を要望。

【3】効率的な事業執行を進めるためにコスト削減奨励制度の活用を。

【4】生田緑地ゴルフ場事業特別会計の決算剰余金を災害時の備蓄機能を備えたクラブハウスへの建て替えなどに有効活用へ。

住みよい町づくりに!

本年6月、Kさんから「20年前、事故で車椅子の生活になった主人が、散歩する道が陥没していたり危険な箇所がある」との相談を受けました。さっそく一緒に歩きました。マンホールのそばなど、何か所か危ない所があることを確認。車椅子で転んだら大変です。ただちに、行政と連絡を



とり、多摩第2支部の行政委員として一日も早い道路の補修をお願いしました。1ヶ月くらいかかりましたが、きれいに補修され、Kさんご夫妻は「楽しく毎日散歩しています」とのお話をいただきました。これからも皆さんの声を聞き、住みよい町にしていきたいと思います。
(塚越瑠美子さん)

補修された道路

実現
しました

小さな声を実現!!

「すがわら進」議員の登戸駅前での朝のあいさつの折、車椅子を利用するお子様を持つお母さんから、「登戸駅前広場には専用の分離帯があるのに、多摩川口の駅前道路にはなく大変不便している」との声が寄せられました。

早速調査し、本年4月に分離帯が完成しました。

登戸駅多摩川口側の道路



東日本大震災

現場を視察!!

5月12日に「すがわら進」議員は東日本大震災によって被害を受けた福島県郡山市と同いわき市を視察しました。

郡山市は、がれきが県内で一番多く公園等に積上げられたまま。被害のすさまじさに改めて心をいため、一日も早い復旧・復興を願わずにはいられませんでした。

いわき市は、かたづけられた海岸線の道路なども視察しました。この海岸では防風林が大変に役立っており、今後の対策の参考になりました。



◀郡山市を視察



▼いわき市の防風林を視察

市議会議員

すがわら進 暮らしの110番

市民相談
お気軽に!

控入室

電話：044-200-3361

自宅

電話：044-933-2043

FAX：044-933-1950

すがわら進のホームページをぜひご活用ください!

URL <http://www.susumu-news.com>

E-mail susumususumu@muf.biglobe.ne.jp

すがわら進の
プロフィール

●昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
●川崎市議会議員に4期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部幹事、川崎総支部連合副会長、
多摩第2支部長 ●川崎市議団団長 ●中央大学学生会幹事・中央大学評議員 ●海城学園海原会常任幹事